

## NPOシニアジョブ設立経緯

### ■ シニアウェブコンセプト

1. シニア間の情報交換・交流及び若い世代とのふれあいをめざす。
2. 定年後も働きたい方の再就職を応援する。
3. 趣味を楽しみたい、趣味の活動をしたい方を応援する

#### シニアジョブコーナー

- ・求人情報掲載
- ・求職情報掲載
- ・就職・転職Web相談
- ・技術Web相談

<http://www.senior-web.org>

**シニアウェブ**  
Senior Web

1998年6月20日設立



SENIOR JOB

特定非営利活動法人

**シニアジョブ**

社団法人日本テレワーク協会賛助会員

<http://www.senior-job.org/>

2004年1月20日設立

シニアの専門知識、技術、経験を社会に再還元する

シニアジョブは、シニア交流のインターネットサイト「シニアウェブ」の仕事に関するコーナーとして1998年6月20日にネット界に誕生した。

主に、求人情報、求職情報などの仕事に関する情報をウェブサイトに無料掲載するほか、「就職・転職相談室」「起業・経営相談室」「技術相談室」を開設し、シニアの様々な相談に無償で応じるなど、シニアの社会参加及び経済的自立を支援する活動を続け、さらに活動をより一層推進する為に、2004年1月20日に特定非営利活動法人シニアジョブを設立し今日に至る。

「シニアの専門知識、技術、経験を社会に再還元する」をミッションとしてシニアの活躍する場を創造しシニアの社会貢献をサポートする活動を行っている

# シニアが変える シニアで変わる

～シニアがシニア & ジュニアを支える時代の到来！～

## 高齢化社会と介護の現状

要介護認定者数	445万人	(2007.4)
介護従業者数	112万人	(2006.10) 労働厚生省資料

## 要介護認定者数の推移 (労働厚生省 介護保険事業状況報告)



要介護認定者数は7年間で227万人増加

～介護従業者1人が3.7人の介護の世話をしている現状で～

少子高齢化傾向は今後も続きます

60歳以上の人口は 人口推計

2010年には人口の31% (3人に1人)

2055年には人口の50% (2人に1人)

国立社会保障・人口問題研究所資料

今後も介護保険制度のもとで介護が受けられるとお思いですか？

2055年の18歳～59歳の人口比率は42%と推計されています。

60歳以上の人口が働く世代の人口より多い社会の到来！

Copyright(C) 2003-2008 NPO Senior Job. All Rights

日本の介護保険制度は 医療制度は 年金制度は 経済はどうか？

解決策はあります ここに注目！

要介護認定者数は 60 歳以上の人口の 1 割(12.4%)

(要介護認定数 445 万人 / 60 歳以上の人口は 3,593 万人:2007 年)

ここに注目！



60 歳以上の 9 割が健康なシニアです

シニアが保険制度に頼らずイキイキとセカンドライフを楽しむ社会

シニアが経済的に自立しシニアが相互に支援する社会



実現なくして 日本の明日はない！

シニアが変われば 社会が変わる！

ご隠居の底力！ 隠居のパワーが日本を変える！！

シニアライフをイキイキと過すには…

1. 話し合える仲間をつくる。
2. 人生で培った知識、技術、経験を活かす場を見つける。
3. 趣味を楽しむ

特定非営利活動法人シニアジョブのミッション

シニアの専門知識、技術、経験を社会に再還元する

## 少子高齢化で日本の経済成長率はマイナス成長へ

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口(平成14年3月推計)によると、国内の総人口は2006年にピークを迎え、それ以降は出生率の減少などにより長期の減少過程に転じると予想されています。一方、65歳以上の人口は、全国で2020年まで増加。特に2007年から団塊の世代が定年期を迎えることで、急速に高齢化が進み、2010年には総人口の約3分の1が60歳以上の高齢者となる見込みです。

これを労働人口という視線で見ると、2003年の労働力人口(15歳以上の就業者、及び就業活動中の完全失業者の総数)は、6,666万人。2005年を境に減少をしはじめ、2025年には6,300万人程度まで減少すると見込まれています。(厚生労働省職業安定局推計/平成14年7月推計)

この労働力の減少は、2007年以降の経済成長率に毎年マイナス0.5%の影響を与え、これに貯蓄率の低下、投資の停滞などを加味すると日本の経済成長率は、2020年にマイナス成長と試算されています。(日本銀行資料)

## シニアと女性の労働人口を増やそう

ここで、将来の経済成長を支える大きなファクターになるのが団塊シニアと女性の労働力です。定年後も働くシニアが年々増えています。また、2007年から団塊シニアの定年ラッシュが始まりました。この団塊シニアと女性の働く場を確保することが今後の社会発展、経済成長の鍵ともいえます。

[NPOシニアジョブ](#)では、定年後も働きたいと願うシニアに様々なサポートをしています。子供や孫達のためにも、今、私達シニアが出来ることを一緒に考え実行しましょう。

## インディペンデント・コントラクター(IC)のすすめ

東京都の『労働に関する世論調査』によると、定年退職後も働くと答えた人は平成13年7月の調査では82.0%と報告されています。

またその一方で、平成17年度版厚生労働省の労働経済白書によると、就業希望者で適当な仕事が見つからなかった人の割合が各年齢階層で高い割合となっています。

特に65～69歳層で仕事がない人の割合が全体の三割以上を占めており、高齢層の就業意欲が高い反面、仕事がない現状が報告されています。さらに、来年から団塊シニアの定年退職ラッシュが始まりますのでシニア層の就業確保が緊急の課題となっています。

最近IC(独立事業主)という、組織に属さず個人で業務を請負う働き方が注目されています。専門性の高い仕事を企業から業務委託するもので、正社員、派遣契約社員、パートタイマーの他に新たにICと呼ばれる働き方を選択する人が増えています。

NPOシニアジョブでは、企業に就職するのではなく、今まで培ってきた技術、知識、経験で業務を請け負うIC希望者を支援する活動をしています。

### インディペンデント・コントラクター(IC = 独立業務請負人)とは

期限付きで専門性の高い仕事を請け負い、雇用契約ではなく業務単位の請負契約を複数の企業と結んで活動する独立・自立した個人のことをインディペンデント・コントラクター(IC = 独立業務請負人)と呼んでいます。

雇う企業からみると「必要な時な時に必要なだけ」専門性の高い領域をコミットし業務を遂行するICを活用する事により、確実にプロジェクトを成功に導き、且つコスト面でもメリットが高いと思われます。

米国ではすでに900万人近いICが活躍しており、今後日本でも企業の本業回帰の流れと、外部にある知恵を有効に活用していきたいという意向から、ICという働き方が拡大すると言われています。

サラリーマンでも、事業家でもなくフリーエージェントである働き方。「雇われない、雇わない」これが、ICの生き方と定義されます。(特定非営利活動法人インディペンデント・コントラクター協会資料)

## 定年後に楽しく働く！

有職者(自営業主、会社員、パートタイマーなど)の高齢期の働き方を調査した結果  
(平成 18 年 12 月の東京都の「仕事に関する世論調査」)

### 週にどの程度働きたいかの回答

週に 4 日以上フルタイムで働く	29%	}	→	全体の 47%
週に 4 日以上パートタイムで働く	13%			
週に 2 ~ 3 日・フルタイムで働く	17%			
週に 2 ~ 3 日・パートタイムで働く	15%			
都合のよいときだけ働く	15%			
わからない	11%			

約 50%の人が時間に縛られない働き方を望んでいる



NPO シニアジョブのご提案



## 半働半遊のライフスタイルの確立

実務で培った専門知識、技術、経験を活用して企業から業務を請け負う IC という働き方。しかも、時間に縛られない、「半働半遊」の働き方なんて本当に可能なの？

**NPO シニアジョブは、シニアヒュージョンを提言します！**

**シニアの結集、融合で相互サポート**

**シニア全員集合！！**

## 680万人の団塊シニア全員集合！

実務で培ったあなたの知識、経験、技術を、今、社会は必要としています。

企業への再就職だけが働く場ではありません。シニアの能力が結集すれば、それは大きな可能性を生みます。技術系人材、営業系人材、会計・経理の人材、販売を得意とする人材のそれぞれの英知と人脈を結集すれば、一つの小さな集団が利益を生むことも不可能ではありません。

シニアジョブでは、個人の裁量で働きたいと願う方々の情報交換・交流を深め、豊かな経験・知識を持つシニアのジョブ集団を目指しています。

シニアジョブの上述の趣旨にご賛同いただけるシニアを募集しています。

一人一人は非力でも、同じ志を持った仲間が集まれば、そこには新たな生きがいと連帯感が生まれます。シニアジョブは、シニアの所有する経験・知識・技術・人脈の融合(ヒュージョン) すなわち**シニアヒュージョン**を目指しています。

- ・長年の技術職で技術、知識には自信があるが財務経理が不得意で・・・
- ・人に負けない技術やノウハウはあるがITが不得意で広報できない・・・
- ・専門技術、知識、経験をどう活かして良いかわからない・・・

このようなお悩みはどなたでもあるでしょう。

長年の経験があっても働いた職種による得意不得意があるのは当然です。

でも、このような悩みも相互に不得意分野を助け合う仲間がいれば容易に解決できます。シニアジョブでは不得意分野を他の会員がサポートすることで個人で事業を始めることも可能になります。

シニアジョブは、スキルを活かす働く場を企画しサポートする組織です。

注) 団塊シニアとは、58歳～60歳の世代: 人口680万人(総人口比5.3%: 2004年)